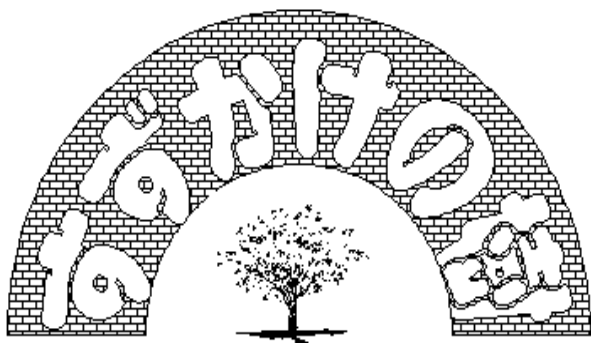




2018. 3. 31発行 No.140

社会福祉法人 すずかけ福祉会

すずかけ共同作業所

愛知県小牧市南外山間島15-1 TEL.0568-71-3644 fax.0568-71-3649

さん

愛知県小牧市小針2-356-2 TEL・fax0568-75-3991

すずかけホームそよ風・すずかけホーム虹の家

愛知県小牧市南外山間81 TEL・fax0568-76-8151

すずかけホーム青空・すずかけホーム太陽

愛知県小牧市小針2-356-1 TEL・fax0568-75-2888

ヘルパーステーションとなり

愛知県小牧市小針2-356-1 TEL0568-90-0111 fax0568-90-0112

おいしい野菜はいかがですか？

～さんの仕事内容紹介

春らしい南風が吹いてきて最近春を感じるようになってきました。

月曜日。さんの朝は野菜の収穫で始まりです。隣接する大野農園の野菜を収穫に行くのです。大野農園は無農薬、有機栽培を大事に安心、安全の野菜を作っています。その素敵な野菜をさんの仲間たちで収穫、水やりをしているのです。

春は大根、リーフレタス、春菊。夏はきゅうり、トマト。秋は小松菜に金時草。冬はゆずと季節を感じることでできる野菜を収穫しています。以前は販売先が限られて、美味しい野菜なのですがたくさん売ることができませんでした。しかし、今年度からは間内

駅近くの生鮮館「やまひこ」で取り扱っていただけることになりました。毎週火曜日が生鮮館「やまひこ」での販売になります。

収穫した野菜を洗浄、計量、袋入れています。生鮮品なので取り扱いには



注意が必要です。仲間たちも慎重に注意しながら野菜の袋入れを行っています。袋入れた野菜を冷暗な場所に急いで運ぶ仲間の姿に仕事としての意識を感じます。

火曜日は朝から大忙し！前日に袋入れた野菜を車に積み込み、生鮮館「やまひこ」まで出荷します。生鮮館「やまひこ」では値札貼り、陳列と自分たちで行ないます。陳列している側から買っていただけ

の商品もあります。お客さんに商品を売るのは失敗出来ないし、緊張もします。でも自分たちの収穫した野菜が皆さんに喜んでもらえる事は少し誇らしいです。

毎週火曜日、名鉄間内駅近くの生鮮館「やまひこ」に皆さん野菜を買いに来てください。私たちが自信を持って収穫した野菜が並んでいます。

(職員 新城)



障害のある人が安心・安定して過ごせる社会を！

報酬改定から見えてくるもの

先日、厚労省から2018年4月から実施される報酬改定案が発表されました。その内容をよく読んでみると国の障害者施策に対する考え方はつきりと見えてきます。今回の改定案は、昨年の財政制度等審議会によって出された財政抑制路線を具体化したもので、障害のある人が安心して暮らせるものとなっていないと感じます。

気になる点を紹介しておきます。

まずは、我が事・丸ごと地域共生社会の具体化が盛り込まれていることです。その第一歩である共生型サービスが稼働し始めます。障害福祉事業所が介護保険事業所の指定を受けることで65歳を過ぎた利用者が引き続き同じ事業所を利用できることから、以前から指摘されていた65歳問題が解消されるかのように見えますが、基本的には介護保険の指定を受けた共生型事業所なので、事業所の報酬が違ったり利用者の負担等があったりと、介護保険に関わる問題点が



解消されたわけではありません。介護保険へ統合させる布石を置いたところでしょう。

また厚労省の考えるこのサービスの最大の目的は「経費削減サービス」であること。それぞれの分野専門の職員を置かないでボランティアを導入し事業を運営することで「効率的運営」を目指すらしいです。利用者にとって安心して使える施設とはとても思えないのですが・・・。

2点目として以前から見え隠れしていた「成果主義」が報酬単価にまで明確に盛り込まれたことです。就労系の事業所などでは、利用者に支払われる平均工賃の額に応じて報酬単価がリンク付けされています。「高い工賃が自立した地域生活につながる」という評価をしたと言っていますが、裏返せば生産活動に関わりにくい障害状況の厳しい重度障害者の否定や排除に繋がることが考えられます。経営的には「稼げる人を！」という心理が動くでしょうし、重度の障害を持つ利用者に肩身の狭い思いをさせかねません。就労支援の本来の目的とは大きなずれが生じるであろうと考えられます。

3点目は、昨年大きな問題となった営利目的の事業者の参入をまた発生させるであろう状況が推測できることです。上記した成果主義的報酬体系は逆に利用することも営利目的なら可能でしょうし、単価だけ見れば金儲けを狙う事業者には「おいしい」事業があるようです。悪質な事業者の参入を防ぐ対策が望まれます。

すずかけの内部の状況に照らしても、いくつか気になる状況が見えてきます。グループホームでのヘルパーの居宅支援や食事提供体制加算などが継続されるなど、評価できるものはいくつかありましたが、全般に首をかしげる内容のものも多くあります。共同生活援助事業（グループホーム）の報酬単価が引き下げられ、ヘルパー事業所の隣接する建物へのヘルパー派遣が報酬カットというわけのわからないものも出てきました。

いずれにしても今回の報酬改定の基本方針は「財政抑制」です。障害を持った人が「当たり前」に暮らすために何が必要か？という当事者の視点に立ったものではありません。毎日のようにニュースでは無駄遣いを取り上げられているのに国は生きるために必要なお金さえ切ってきます。「必要な物だ！」ともっともっと大きな声をあげていく必要があります。



ドキドキ！？ショートステイで泊まり体験！

9月からホーム太陽・青空の空き部屋を利用して、短期入所事業（ショートステイ）を始めました。新年度、新たにホームを利用する仲間（氏家さん、神谷さん、白崎さん、新林さん）の練習にも11月から取り組んでいます。太陽メンバー（青木さん、東さん、舟橋さん、堀田さん、渡辺さん）と、ショートステイの仲間たちの様子を少し紹介します。

予定の変更や新しいことへの不安が強い白崎さんは、ショートステイの予定の日を知った日から抵抗を示している姿がありました。当日は緊張した表情でしたが、ホームの仲間が「大丈夫だよ」などと声をかけて不安を和らげ、次の日に好きな空き缶の仕事をすることを励みにして乗り越えていました。氏家さんは、東さんの部屋でテレビを見せてもらい一緒に過ごしています。二人ともドラえもんが好きなようでDVDを真剣に見ている姿は微笑ましいです。神谷さんと新林さんは、過去に日中の同じグループに所属していた青木さんや堀田さんにいろいろと気にかけてもらっています。「一緒に部屋でテレビ見ようね。こっちおいで」と優しく声をかけてくれる青木さんを、新林さんも「はい！」と言って頼りにしています。そんな新林さんは一人部屋が寂しいようで、夜中や朝方にこっそりと青木さんの部屋に忍び込んでいくことも（笑）。でも懐の深い青木さんは「しょうがないな」と言って優しく対応してくれています。

堀田さんと大の仲良しの神谷さんは、兄貴分の堀田さんに連れられて部屋でテレビを見せってもらったり、リビングで新聞を見たりして過ごしています。渡辺さんはショートステイの仲間たちが来ると気になるようで、リビングにやってきてしばらく様子を見ています。舟橋さんは誰がいてもマイペースで自分の生活を送っており、彼らのことを意識していないようにも見えますが、食事を食べながらニコニコとやさしい眼差しを向けている姿もあります。

ショートステイの仲間たちがホームでの生活を体験するようになって5カ月がたちました。まだまだ家庭を離れての生活に不安がある仲間や、淡々と生活を送る仲間、自分のペースでの生活をつくりだしてきている仲間などいろいろな姿が見えてきています。今後も泊まりの練習を重ねていき、新ホームへ準備を進めていきます。（ホーム職員 加藤 和明）



楽しいね！

仲間から学ぶ～新人職員の思い～

最初の頃は先輩職員に支えられながら、目先のことをこなすことや、この人はどういう人なのだろうということを見るのに精一杯でした。時には仲間との間で、意思疎通がうまくとれなくて落ち込むことがありました。1年が経ちそれでも悩むなあと思うことはありますが、仲間と関係ができていく中で、意外な姿を見せてくれたり、時には仲間に支えられているなあと感じることがあり、最初の頃にはなかったような楽しさを感じるようになりました。同時に、仲間がふと見せる表情や言葉、仕草の中にどんな思いや要求があるのだろう、何を伝えたいのだろうということを汲み取りながら、大なり小なりの変化から先輩たちと一緒に考え、時には悩むということの大切さを一日一日感じています。

それぞれの障害特性を持ちながら仲間が歩んできた生活歴は様々で、その仲間たちが日々出す思いや要求もまた人それぞれ個性があって違ってきます。例えば、次の見通しをもつてテキパキ仕事をこなす仲間、逆に次の見通しが中々持てず、思いをうまく出せないこともあって怒る仲間、今は休みたいという仲間、ゆっくりペースで物事を進めていきたい仲間など…。仲間たちの間で考えや思いや要求がぶつかってしまい、時にけんかなどが起きることも。私自身がそれに表面的につられてしまい、どうしても一方的な見方を持って対応してしまうこともあります。でも、その中で弱さも含めそれぞれの人となりを受け止め、「今この人はこういうことをしているけれど本当の要求は何だろう、本当は何をしたいのだろうか」ということを仲間から学び、これからも考えていきたいなと思います。

（職員 西村 優二郎）

◆「アール・フリッツのちから展」を

見に行きたよ！

今年も小牧ワイナリーの展覧会に出展しました。今回はいちごグループだけでなく、おひさまグループも文化活動で絵画をし、応募したものが展示されています。仲間たちもみんなで見学に行きました。

やはり自分の絵や仲間の絵を見つけると嬉しそうでしたよ♡



◆ランチョンマットを納品したよ！

地域の外山幼稚園様が進級プレゼントとして縫製製品を注文して下さいました。いつもありがとうございます。

今回は刺繍とネームがついたランチョンマットを子供の人分186枚。花や動物、のりものなど子供が大好きなものを心をこめて刺繍し、かわいいマットが完成しました！小学校へ行ったら給食の時に使ってくれるかな…。

◆出張やろまい会 in 小牧に

参加しました

きょうされん愛知支部のやろまい会（利用者部会）が小牧で開催され、さらん・すずかけの

仲間6名と職員4名が参加してきました。

署名の学習会など内容は少し難しかったのですが、出発前は誇らしげに「行ってくるね」と言ってお出かけ仲間や、終わってから「署名の大切さがわかった」と言っていた仲間もいました。これから機会があれば積極的に参加し、活動や交流を通して、運動に繋がれるといいですね。

◆明日はどっへ行こうかな…？

すずかけのほっとグループは、半日は外へ出かけています。なかなか自分で行きたい場所を意思表示することが難しく、いつも同じ人が行きたい場所を言うことになってしまっていたので、最近は午後の活動が終わってからくじびきをして、行き先を順番に決めていきます。写真を見て選ぶということ、自分の思いだけでなく友達のものも知っていくことをめざしていきます。

◆寄付・寄贈の御礼

- ・小牧市善意銀行様
 - ・イオン小牧店様
 - ・カトリック小牧教会様
 - ・日栄産業(株)様
 - ・小牧遊戯場防犯組合様
 - ・小牧市仏教会様
 - ・小牧ライオンズクラブ様
- 〜ありがとうございます〜



✿ 編集後記 ✿

あつという間に新しい年度が始まりますね。

最近、外部の相談員の方や他事業所の方との調整、会議への参加等が増えました。自分がそんな働き方をするようになるなんて入職したばかりの頃だったら考えられないなあなんて思っています。その当時よりは成長できていると思いますが（思いたい）、実際には、力不足だなあと落ち込むこともあります。でも実践面のことはもちろん、広い視野で物事を見ることで、また前向きにがんばろうと思えるし、やはり自分自身のステップアップや勉強になることが多いです。

いよいよ新ホームがスタートします。新しい仲間、職員も加わります。福祉の公的な責任はどんどん後退させられ、苦しい現実が続きますが、誰もが安心して暮らせる社会をめざして自分たちにできることをがんばっていききたいと思っています。

ここ数年はすずかけの樹の発行ペースがいまひとつでしたが、新年度はきちんと定期発行できるように精進していきます。